

バークレーの学士課程教育と 学習者中心型の学習支援

2019年3月2日（土）15～17時

東京大学本郷キャンパス教育学部棟158教室

講師：エリザベス・ウィルコックス（Elizabeth Wilcox）氏
（カリフォルニア大学バークレー校学習支援上級コンサルタント）

<開催趣旨>

アメリカの学士課程教育においてアカデミック・アドバイジングを中心とする学習支援は、学生の個別の学習相談に応じ、また履修科目や専攻の決定をサポートするなど、重要な役割を担っています。学士課程教育において学生の学習成果が重視される動向の中で、学習支援の領域でも、各種支援が学生の学習に有効に機能しているかどうかに着眼した取組が進められています。

カリフォルニア大学バークレー校では、6年ほど前から、全学的な学習支援の改革が進められており、学生の学習や経験を中核に置いた枠組みの設計が進んでいます。この改革は全米でも高い評価を受けています。この度、その改革において中核的な役割を担っておられるエリザベス・ウィルコックス氏をお呼びし、バークレーにおける改革動向についてお話しいただくことになりました。アメリカでの近年の展開を共有しつつ、日本の学士課程教育のあり方について考えてみたいと思います。

ご関心のある方はぜひご参加下さい。

（講演は英語で行われ、日本語による解説が付きます。）

<Elizabeth Wilcox氏略歴>

現在、UCバークレー校学習支援上級コンサルタント、学習支援協議会委員。

これまでUCバークレーにおいて、ビジネススクール学士課程アドミッションオフィサー、文理学部学習支援ディレクター補佐、IR室アナリストを歴任。

司会：福留 東土（東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース准教授）

※本セミナーは東京大学とUCバークレーとの戦略的パートナーシップ・プロジェクトの一環として開催されます。

*本セミナーは公開で行われます（参加費無料）。学外者の方も自由にご参加下さい。

*会場への詳しいアクセスは右をご覧ください。 <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cg>

*資料準備のため、参加希望の方は2月28日（木）までに以下までEmailでお申し込み下さい
（当日参加も可能です）。 daikei3*p.u-tokyo.ac.jp （*を@に替えてください。）

<お問い合わせ先>

大学経営・政策コース事務室（daikei3*p.u-tokyo.ac.jp）（*を@に替えてください。）

TEL/FAX 03-5841-3993